

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	・3年生卒業前アンケートにおける「進路指導による自己の変容」に関する肯定的回答の向上 ・授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができたと感じている」の肯定的回答の向上 ・学校教育自己診断（生徒）における「学校で将来の進路や生き方について考える機会がある」の肯定的回答の向上 ・学校敷地内の里山である「裏山」の活用状況（授業・行事・地域連携・ボランティア活動として有効に活用）の向上
計画名	「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1. 教員の授業力の強化と「確かな学力」の育成 (3) 生徒の自習力や学習意欲の向上及び整備された教育環境の積極的活用により興味・関心を持たせる。 2. 生徒が希望する進路の実現のため、学習指導と進路指導の充実 (1) 3年間を見通した進路指導計画によりキャリア教育を充実させ、大学進学等の目標の実現及び、さらに高い目標の設定とその実現をめざす。 4. 地域に開かれた学校づくり (2) 地域との交流・連携を推進することにより、学校を活性化し、学校への信頼を高める。		
事業目標	○本校生徒は学力面では中～上位で、大部分がクラブ活動に励み、地域との連携活動やボランティア活動にもよく取り組んでおり、9割程度の生徒は大学進学するものの、将来に対する高い志を抱くことなく、自立的な進路選択や将来計画が希薄なまま進学している者も少なくない状況である。 ○社会人として自立した人を育てるキャリア教育の観点から、これまで「地域連携の拠点」としてきた敷地内にある裏山を活用し、観察や実習、里山体験、地域や大学との連携を通して、生徒の自尊感情やモチベーションを高めることで学習への意欲や興味・関心を向上させるとともに、「生きる」意味や「学ぶ」意味を考えさせ、「希望する進路の実現のための拠点」へとシフトしていく。また同時に、災害時のボランティア支援基地として防災教育の推進にも活用する。 ○数値目標としては、3年生卒業前アンケート、授業アンケート、学校教育自己診断、裏山等の活用状況の各指標を向上させていく。		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	裏山への入口スロープ、樹木名ラベル、植物案内プレート、維持管理のための機材（ハサミ・鎌など）、薪の保管棚、防災用釜戸（ベンチタイプ）、鍋・釜 ほか	
	取組内容	前年度	〔園児対象〕保育実習（家庭科）、裏山の散策、裏山でドングリ拾い、畑でサツマイモやタマネギを栽培・観察・収穫 〔小学生対象〕夏の自然教室として裏山を観察 〔本校生・PTA対象〕裏山一斉清掃（12月） 〔市民対象〕裏山で秋の自然観察と干し柿づくり、本校と周辺地域を散策し「春の七草」を集め寄せ植えを作製 ※担当は、管理職・首席・担当教員・環境委員・生物エコ部員／PTA・「刀根さと倶楽部」（PTAのOB・OG会）
		初年度	〔体制整備〕「刀根山・里山活用プロジェクト会議」の立ち上げ（管理職・首席・関係教科担当者・関係クラブ顧問・有志）、地域との情報交換・共有、大学（大阪大学・京都光華大学・神戸女学院大学等）との打合せ 〔環境整備〕裏山への入口スロープの改修（～8月）、遊歩道及び畑の整備、生態系（動植物・昆虫・キノコ等）のリサーチ、「マップ」作り、植物名ラベル・案内板の作成と設置、樹木の剪定、薪の保管庫・防災用釜戸の整備 ◇自然観察フィールド ◇体験学習（里山文化）フィールド ◇環境学習（歴史・文化を含む）フィールド ◆災害時のボランティア支援基地 … 地域支援（燃料《薪・枯枝》の確保、炊き出しなど） A. 体制及び環境の整備を行うとともに地域からの意見や有識者の提言を踏まえ、プロジェクト会議でランドデザインを策定し、全教職員で情報共有する。 B. 前年度まで実施してきた取組みについて、環境委員や生物エコ部員だけでなく、生徒会や他のクラブ員にも参画させる。→「奉仕」の精神の育成 C. 大学の教員・大学院生等の協力を得て、本格実施に向けた予備リサーチ（本校生も参画）を実施し、さらなる環境整備を推進するとともに、提言された課題の解決に向けた取組みを進める。 D. 同様の取組みを実施、或いは、環境教育を推進している学校との交流に向け、各校担当者間で調整を行い提携を結ぶ。 E. 〔初年度のみ〕他地域の里山での活動や植物園等での実践を視察し、本校の取組みにカスタマイズさせる。 F. 初年度の総括（学校教育自己診断・各アンケート・有識者による評価）→来年度の取組みに反映
		2年目	〔体制整備〕プロジェクト会議に加え、生徒・地域住民・有識者等にも参画してもらい「拡大プロジェクト会議」を開催 〔環境整備〕各クラス的环境委員やクラブ員を中心に、定期的に里山の整備を実施 A. グランドデザインに則り、以下の取組みを生徒とPTAで実施する。 ・新たな樹木の植樹、不要な草木の伐採・剪定、実習林や実験園の造営、遊歩道のさらなる整備 B. 初年度の取組みに加え、以下の取組みを実施する。 ・防災用ベンチ釜戸を活用した非常食の調理実習（薪割り体験を含む） ・「ミニ・オリエンテーリング」（近隣の小中学生対象） ・ベンチの作成（裏山に親しみ、環境を整備するため） ・裏山を活用した授業での取組み（理科：生物・生態・地質等、社会：植生・地形・歴史等、国語：和歌に出てくる植物との触れ合い、家庭：ハーブ等の利用、保育実習） C. 大学の教員・大学院生等による本格的なリサーチを実施し、計画の修正などの提言を受けるとともに、本校生を交えたバズセッションを通じて、「学ぶ」意味や大学進学の意味を考えさせる。→キャリア形成 D. 同様の取組みを実施、或いは、環境教育を推進している学校との交流及び共同研究を進める。 F. 2年目の総括（学校教育自己診断・各アンケート・有識者による評価）→来年度の取組みに反映
	3年目	A. グランドデザインに則って進めてきた取組みを踏まえ「マップ」を更新する。 B. 2年目の取組みに加え、以下の取組みを実施する。 ・防災用ベンチ釜戸や薪・枯枝（保管庫）を活用した地域との共同防災訓練 ・裏山を活用した授業でのさらなる取組み ・「マツ枯れ」や「ナラ枯れ」の実態調査及び大学等と連携した対策 ・地域の方々と連携した里山文化体験（干し柿・ドングリ団子・門松・リース・つる籠などの作成） C. 大学の教員・大学院生等のサポートによる課題研究の発表 D. 同様の取組みを実施、或いは、環境教育を推進している学校との共同研究発表 F. 中間総括〔校内〕（11月）、成果発表会〔全府立学校及び豊中市内の中学校の生徒・教員を対象〕（2月）、 ☆最終総括及び有識者による評価を踏まえ、3年間の成果集を作成し、4年目以降の取組みについて方向性と内容を再検討する（3月）	
取組みの 主担・実施者	主担：「刀根山・里山活用プロジェクトチーム」 取組の実施者：管理職・首席・関係教科担当者・生物エコ部など関係クラブ顧問・生徒会顧問・有志 → 最終的には全教職員で実施することをめざす		
成果と 評価の 検証 方法	初年度	①3年生卒業前アンケートにおける「自分の希望進路が見えてきた」「進路実現のための自分の課題が見えた」「社会に出ることの意味について考えることができた」「自分自身の適性や特徴について考えることができた」の合計（H27年度70%）を75%に引き上げる。 ②授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができたと感じている」（H27年度77%）を80%に引き上げる。 ③学校教育自己診断（生徒）における「学校で将来の進路や生き方について考える機会がある」（H27年度82%）を85%に引き上げる。 ④裏山に関する生徒アンケートにおける「裏山を有効に活用できた」を70%とする。	
	2年目	①3年生卒業前アンケートを80%に引き上げる。 ②授業アンケートを83%に引き上げる。 ③学校教育自己診断を88%に引き上げる。 ④裏山に関する生徒アンケートを75%に引き上げる。	
	3年目	①3年生卒業前アンケートを85%に引き上げる。 ②授業アンケートを86%に引き上げる。 ③学校教育自己診断を91%に引き上げる。 ④裏山に関する生徒アンケートを80%に引き上げる。	

3. 事業費

事業費総額	3,969,849	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	大学教員 講師謝礼	○			¥50,000	1	¥50,000
	2	大学生・大学院生 指導協力謝礼	○			¥5,000	5	¥25,000
	3							
								小計
2 旅費	1	実践例視察・交流(他校)	○			¥1,500	10	¥15,000
	2	実践例視察(他地域、植物園等)	○			¥50,000	2	¥100,000
	3							
								小計
3 消耗需用費	1	植物案内プレート(樹木や野草等を説明表示)						¥612,360
	2	薪の保管庫(裏山で出た枯れ枝を薪として保管する棚)				¥38,130	2	¥76,260
	3	剪定用ハサミ				¥3,420	20	¥68,400
	4	枯枝切り用ノコギリ				¥2,730	20	¥54,600
	5	笹刈り用鎌				¥1,831	5	¥9,155
	6	替刃式草刈釜				¥1,134	15	¥17,010
	7	羽釜				¥15,800	5	¥79,000
	8	かまど				¥19,100	5	¥95,500
	9	ずんどう鍋				¥17,928	6	¥107,568
								小計
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
								小計
5 役務費	1							
	2							
	3							
								小計
6 委託料	1	校内植生マップ(解説付き)の作成・印刷				¥499,996	1	¥499,996
	2							
	3							
								小計
7 使用料及び賃借料	1							
	2							
	3							
								小計
8 備品購入費	1							
	2							
	3							
								小計
9 工事請負費	1	裏山への入り口スロープの改修工事						¥2,160,000
	2							
	3							
								小計
10 負担金・補助及び交付金	1							
	2							
	3							
								小計
							合計	¥3,969,849

積算内訳